

2025 年度 日本教科内容学会 功績賞

受賞者 西園芳信氏

授賞理由

従来、教員養成においては教科専門が学校現場での教育内容と乖離していることが大きな課題とされていた。西園芳信氏は、その解決のためには、教科の背景にある学問内容を教育実践の立場から捉え教科内容として再構成する「教科内容学」の確立が不可欠であると考え、その実現に向けて兵庫教育大学連合大学院において研究プロジェクトを組織し、自らリーダーとして先駆的な研究を推進した。その後も、文部科学省の受託事業や日本教育大学協会のプロジェクト研究など様々な取り組みを牽引し、教科内容学研究の意義と必要性を教員養成関係者に対し強く訴えかけてきた。これらの活動により高まった教科内容学研究への関心が本学会の設立へと繋がっている。

学会設立後も、西園氏は組織の整備と研究発展の両面にわたり尽力を続けてきた。特に、学会内において教科内容構成の理論的構築を目指すプロジェクトを立ち上げ、完成度の高い理論構築へと忍耐強く導いた功績は顕著である。さらに、教科内容構成と教科教育の融合を目指す共同研究も主導し、その発展に大きく寄与している。

このように、西園氏は本学会の設立にとどまらず、その組織的・学問的基盤の構築において中心的な役割を果たし、本学会の創始者と称するにふさわしい卓越した業績を残された。ここにその功績を称え、日本教科内容学会功績賞を贈呈するものである。